



人文学研究科・文学部 国際連携室（豊中）（旧文学研究科・文学部 国際連携室）

国際連携室では、年間を通じて様々な行事や企画を実施しています。留学生だけでなく、当研究科・学部の学生を対象としたプログラムもあります。2023 年度には以下の行事を実施しました。

（*は留学生のみ対象）

※新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得なかった行事については、通常の前定を記しておきます。

- **部局間協定校 派遣学生募集** 人文学研究科・文学部協定校へ交換留学する学生の募集です。

留学開始時期に応じて、一年に 2 回募集します。

2023 年度 本募集 2023 年 8 月 1 日（火）～ 2023 年 8 月 31 日（木）

追加募集 2024 年 1 月 9 日（火）～ 2024 年 2 月 2 日（金）

- **タンデム学習プログラム** 留学生と日本人学生のペアでお互いの言語や文化を学びます。

前期と後期にそれぞれのプログラムがスタートします。プログラムの詳細については、Facebook をご覧ください。

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/OsakaUTandem>

前期 参加者募集 4 月 10 日（月）～5 月 5 日（金） 親睦パーティー **新型コロナウイルスのため中止**
ワークショップ 7 月 14 日（金）

後期 参加者募集 10 月 2 日（月）～10 月 22 日（日） 親睦パーティー **新型コロナウイルスのため中止**
ワークショップ実施無し

- **新入留学生オリエンテーション*** 新入留学生を対象としたオリエンテーションです。（参加者数のみ記入）

4 月 7 日（金） 参加者：計 34 名（対面：28 名、オンライン：6 名；新入生、留学生専門教育教員、国際連携室 2 名、教務係 1 名、タンデム学習 1 名）。

9 月 28 日（木） 参加者：計 19 人（新入生、留学生専門教育教員、国際連携室 2 名、教務係 2 名、タンデム学習 2 名）

それぞれの開催日に参加できなかった新入生には、後日個別説明を行いました。

- **チューター説明会** 初めて留学生チューターを担当する学生を対象とした説明会です。

前期は 4 月 19 日（水）に開催。参加者：15 名（残り数名に個別対応）

後期は 10 月 18 日（水）に開催。参加者：5 名（残り数名に個別対応）

- **英語集中講座**

研究の国際的通用性や国際的発信力を高めるため、学部生・大学院生を対象とした英語集中講座（IELTS 等）を実施しています。二つのレベルを設定して二講座（中級／中上級など）を設定しています。学外からネイティブの講師（ブリティッシュ・カウンシルなどから）を招待し、授業をしていただきます。2023 年度はオンラインで実施しました。

実施期間：2024 年 2 月 26 日（月）～3 月 1 日（金） 参加者数、中級：8 名、中上級：12 名

- **英語能力判定試験受験料の補助**

人文学研究科（人文学・基盤日本学・芸術学）・文学部の正規課程の学生に対する留学準備援助の一環として、英語能力判定試験（IELTS、TOEFL）受験料を一部補助する制度です。2023 年度より、開始しました。

2023 年度は、計 9 人に対して補助を行いました。

- **留学説明会**

人文学研究科（人文学・基盤日本学・芸術学）・文学部学生を対象とした説明会です。学内選考や留学先大学への申請手続やスケジュール、奨学金についての説明の後、交換留学経験者の体験談を聞き、渡航準備や現地での生活だけでなく、帰国後の就学や就職活動などについての質問にも答えていただきました。

5 月 31 日（水）に実施しました。（参加者：39 名＜当研究科・学部の学生：34 名、発表者：2 名、教職員：3 名＞）

- **イーストアングリヤ大学（イギリス）特別留学説明会**
イーストアングリヤ大学留学担当者 Katrien Verbruggen 氏が来学され、本学部・研究科向けにイーストアングリヤ大学への留学について説明いただきました。（開催日：2023 年 11 月 27 日（月）、対面形式（参加者 全 17 名＜教職員 6 名、学生 11 名＞）
- **エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム（EM）派遣説明会**
エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム派遣奨学生候補募集のための説明会です。毎年、10 月中旬ごろに実施しています。2023 年度は、11 月 1 日（水）に実施しました。（参加者：6 名 ＜学生：4 名、教職員：2 名＞）
- **「ゆめ基金」応募者募集**
交換留学制度を利用する文学部学生を対象とした奨学金です。
2023 年 6 月 29 日（木）、2024 年 1 月 16 日（火）を選考基準日として募集し、選考のうえ採用者を決定しました。
- **エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム（EM）特別講演会**
2023 年 11 月 8 日（水）ヤギエロン大学の Dr. Natasza Styczynska（ナターシャ・ステチェンスカ）助教授に「Populist Politics in Central and Eastern Europe」と題して英語でご講演いただきました。（参加者：10 名）
- **ランチタイム交流会**
年 2 回、軽食を摂りながら、学生、教職員が学期初めのお昼のひとときを一緒に過ごす機会を作ることが目的です。
2023 年度は、まだ新型コロナウイルスの影響があり、1 回のみ実施しました。（実施日：2023 年 10 月 31 日（火）、参加者：39 名＜教職員：7 名、学生（留学生を含む）32 名＞）
- **浴衣・着物教室***
年 2 回行われますが、2023 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。
参加者の好みに応じて一着を選んで着付けていただき、思い思いのポーズで写真に納まります。
- **国際交流促進のための国際セミナーの開催及びプロシーディングの刊行**
当研究科・学部で学ぶ若手研究者が外国語（英語）でそれぞれの研究について口頭発表する機会を作る目的で、年一回国際セミナーを実施しています。2023 年度は 10 月 25 日にハイブリッドで実施し、国内外の若手研究者による口頭発表および意見交換、討論を行いました。また、各発表者が自身の発表を学術論文として発信できるよう、セミナーのプロシーディング（英語論文集）も刊行しています。

今年度の実施案内は HP やポスターなどでご確認ください。
留学プログラムや留学派遣学生の募集情報は HP や KOAN を通じて案内します。

学生派遣・受入れのデータ

留学派遣（2024年3月31日付、既に帰国した者・休学事由「留学」・バーチャル留学を含む）

研究科 8名

在籍学年	
後期 3年	1
後期 2年	3
後期 1年	0
前期/修士 2年	3
前期/修士 1年	1

渡航先	
フランス	3
ドイツ	2
英国	1
韓国	1
インド	1

学部 13名

在籍学年	
学部 4年	2
学部 3年	8
学部 2年	1
学部 1年	2

渡航先	
英国	4
ドイツ、オーストラリア	各 2
アメリカ、ノルウェー、 イタリア、タイ、台湾	各 1

大学主催の語学研修等参加者（2024年3月31日付）

研修名等	研究科	学部	研修名等	研究科	学部
モナシユ大学	0	0	フリンダース大学	0	0
エンデランカレッジ	0	0	CampusFrance	1	0
西シドニー大学	0	0	ハワイ大学マノア校	0	1
ヨーク大学	0	0	その他	0	0

留学生受入れ（2024年3月31日時点での在籍数。休学中、EM参加者は除く。）

研究科	学部
博士後期課程 3年	22 4年 19
博士後期課程 2年	16 3年 8
博士後期課程 1年	15 2年 10
博士前期課程 2年	27 1年 9
博士前期課程 1年	23 研究生 34
修士課程 2年	2 特別聴講学生 29
修士課程 1年	0
研究生	9
特別研究学生	13
特別聴講学生	21

出身国・地域		
中国	160	ベトナム、ポーランド、スイス、スロバキア、デンマーク、フィンランド、モンゴル、朝鮮 各 1
韓国	46	
台湾	9	
ドイツ	8	
ブラジル	5	
ロシア、オーストリア、アメリカ	各 3	
タイ、トルコ、香港、インド、ウクライナ、ハンガリー	各 2	

在籍専門分野・コース、専修

	研究科					学部			
	博士後期	博士前期/修士	研注	特別研究学生	特別聴講学生	学部	研究生	特別聴講学生	
哲学哲学史	2	1	-	-	2	哲学・思想文化学	3	-	-
現代思想文化学	-	-	-	-	-	インド哲学	1	-	-
臨床哲学	1	1	-	-	-	臨床哲学	-	-	-
日本史学	1	3	-	-	-	日本史学	2	-	-
東洋史学	1	3	1	-	2	東洋史学	4	4	-
西洋史学	2	-	-	1	-	西洋史学	3	-	-
考古学	-	-	-	1	-	考古学	2	-	-
日本文学	2	3	1	-	3	日本文学	1	2	-
人文地理学	1	1	-	-	-	人文地理学	1	-	-
日本語学	6	3	1	1	4	日本語学	3	4	-
日本文学	11	9	-	3	4	日本文学・国語学	7	10	-
国語学	-	-	-	-	-	言語生態論	-	-	-
比較文学	-	1	-	-	-	比較文学	2	2	-
中国文学	4	4	1	6	-	中国文学	-	-	-
英米文学	-	-	-	-	-	英米文学・英語学	1	1	-
英語学	-	-	-	-	-	倫理学	1	2	-
美学・文芸学	2	3	-	-	-	美学・文芸学	3	3	-
音楽学・演劇学	9	7	2	-	-	音楽学・演劇学	-	3	-
美術史学	5	3	-	-	1	美術史学	-	3	-
共生文明論	-	1	-	-	-	共生文明論	-	-	-
アート・文化論	-	6	1	1	-	アート・文化論	-	-	-

文学環境論	4	2	2	-	-	文学環境論	-	-	-
インド学・仏教学	1	-	-	-	1				
その他	1	1	-	-	4	未配属	12		29
	53	52	9	13	21		46	34	29

教員派遣・受入れのデータ

教員海外出張・研修 (2023年4月から2024年3月)

海外出張 延べ32名、65件

中国、韓国	各8	ベトナム、オーストリア	各3	チェコ、オランダ、ベルギー、スロベニア、ラオス、マレーシア、エチオピア、スペイン	各1
イギリス、フランス	各6	シンガポール、ブラジル、フィンランド、カンボジア	各2		
アメリカ、ドイツ、台湾	各5				

海外研修 延べ2名、3件

タイ	2
オーストラリア	1

招へい研究員・招へい教員(外国人)の受入れ (2023年4月から2024年3月)

1. サッカ ティモ タパニ (SÄRKKÄ, TIMO TAPANI) フィンランド 2023年4月1日～2023年9月30日. Global History に関する研究 (秋田茂教授受入れ)
2. エスカンド ジェシ イヴオン (ESCANDE JESSY YVON) フランス 2023年4月1日～2024年3月31日. 国際交流基金日本研究フェローシップ「現代日本ファンタジーにおける異文化受容の性質に関する研究」(橋本順光教授受入れ)
3. 朱 喜哲 (JU HEECHUL) 韓国 2023年4月1日～2024年3月31日. 科研費(若手)「推論主義によるELSI領域の理論的基盤提供と応用」(2021年4月-2026年3月)に基づく研究(嘉目道人准教授受入れ)
4. 劉 翔 (LIU XIANG) 中国 2023年4月1日～2024年3月31日. 役割語としての「時代ことば」及び「幼児語」の日中対照研究(岡島昭浩教授受入れ)
5. 蒲 姣艶 (PU JIAOYAN) 中国 2023年4月1日～2024年3月31日. 「古今集時代の歌材形成」に関する研究(滝川幸司教授受入れ)
6. 張 佳能 (ZHANG JIANENG) 中国 2023年4月1日～2024年3月31日. 「新たな「昭和歌謡史」に向けて:昭和期の大衆音楽史の再構築に関する試み」の研究(輪島裕介教授受入れ)
7. 楊 婷婷 (YANG TINGTING) 中国 2023年6月1日～2024年3月31日. 「日本に於ける中国古典詩学」に関する研究(浅見洋二教授受入れ)
8. 李 由 (LI YOU) 中国 2023年7月1日～2023年8月31日. 「江戸・明治時代の漢文作文の教育状況」にかかる調査・研究(浅見洋二教授受入れ)
9. 魏 正 (WEI ZHENG) 中国 2023年9月1日

- ～2024年4月1日. 博士論文作成のための資料収集、指導教員との研究指導および講義受講など(輪島裕介教授受入れ)
10. 王 金旋 (WANG JIN XUAN) 中国 2023年9月1日～2024年8月31日. 「日本における中国音楽文化の現代的伝播と普及」に関する研究(伊東信宏教授受入れ)
11. メンダズ トレババー ハルヴィ (MENDERS Trevor Harvey) アメリカ 2023年10月1日～2024年9月30日. 日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)フェローシップによる博論研究(テーマ・近世初期風俗画における演舞の描写、その解釈)(門脇むつみ准教授受入れ)
12. ヴァルデズ アレクサンドラ リー (VALDEZ ALEXANDRA LEIGH) アメリカ 2023年10月1日～2024年9月30日. Cusanuswerkの奨学金、日本史研究、博士論文「沖縄戦の体験記」に関する研究(北村毅教授受入れ)
13. ナターシャ ステチェンスカ (NATASZA STYCZYŃSKA) ポーランド 2023年10月20日～2023年11月20日. エラスムス・ムントゥス・ユーロカルチャプログラムによる「EUの国際関係」に関する研究(BURDELSKI Matthew James 教授受入れ)
14. 曹逸梅 (CAO YIMEI) 中国 2023年12月29日～2024年2月24日. 「日本における蘇軾図絵と画題」に関する研究(浅見洋二教授受入れ)
15. 韓 聃 (HAN Dan) 中国 2024年1月17日～2024年7月16日. 「伝承と活用:能を掛け橋とした芸術審美における現代世界への啓示」に関する研究(中尾薫准教授受入れ)

編集・発行 文学部・文学研究科 国際連携室

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

堂山 英次郎・モハンマド モインウッディン・廣澤 沙紀

発行日 2024年3月31日